

カール・マリア・フォン・ウェーバー

(Carl Maria von Weber, 1786-1826)は、ロマン派オペラ作曲家として有名ですが、歌曲の分野でも多くの作品を残しています。彼の歌曲は、ドイツ・リート tradition を発展させ、ロマン主義の詩的な感性と融合したものが多く、情感豊かな表現と美しい旋律が特徴です。

《Lebe wohl》(さようなら)Op. 25, No. 3

- **作曲年:** 1810 年
- **詩:** ヨハン・フリードリヒ・ライヒャルト
- **内容:** 「さようなら」というテーマに基づく哀愁に満ちた曲で、別れの悲しみと感傷が歌われています。詩の内容に忠実に、ウェーバーは感情的なメロディーと繊細な伴奏を用いて、別れの苦しさとその中にもある穏やかな諦念を表現しています。
- **音楽的特徴:** 穏やかなテンポと落ち着いた和声進行が、別れの悲しみを優しく包み込むように描きます。声部とピアノ伴奏が密接に絡み合い、感情的な高まりとともに哀愁が増していくような構成です。

《Das Hirtengesetz》(羊飼いの法)Op. 49, No. 1

- **作曲年:** 1818 年
- **詩:** ヨハン・ガイスラー
- **内容:** この歌曲は自然と牧歌的なテーマを扱い、羊飼いの素朴な生活や、自然との調和を歌った作品です。シンプルで軽やかなメロディーが牧歌的な雰囲気を醸し出し、詩の内容と一致しています。
- **音楽的特徴:** 軽快で素朴なリズムが特徴で、ピアノ伴奏がリズムカルに動きながらも自然の穏やかさを描写しています。歌のメロディーも流れるようで、素朴で純粋な感情が伝わります。

《Die Temperamente beim Verluste der Geliebten》(恋人を失った時の気質)Op. 46

- **作曲年:** 1816 年

- **詩:** ヘルマン・フォン・レーズヴィッツ
- **内容:** この歌曲は、恋人を失った時に見せる4つの異なる気質(多血質、粘液質、胆汁質、憂鬱質)を描写しています。ウェーバーは、詩のそれぞれの気質に対応した音楽スタイルを採用し、感情の多様性を巧みに表現しています。
- **音楽的特徴:** 各気質に応じて、音楽のリズムやテンポ、和声が変化します。多血質では軽快なテンポが、粘液質では滑らかなメロディーが、胆汁質では力強い音楽が、そして憂鬱質では哀愁を帯びたメロディーが用いられています。

《Der wilde Jäger》(野生の狩人)Op. 5, No. 1

- **作曲年:** 1808年
- **詩:** 無名の詩人
- **内容:** この曲は、狩りをテーマにした活気に満ちた作品で、自然と狩猟の世界が描かれています。勇壮なメロディーとリズムが、狩人の勢いと活力を表現しています。詩は自然の力強さや、狩りの緊張感を感じさせるものです。
- **音楽的特徴:** 強烈なリズムと高揚感のあるメロディーが特徴で、ピアノ伴奏が狩りの興奮と動きを描き出します。声部とピアノの掛け合いが緊張感を生み、曲の力強さが際立っています。

《Der Blumen Schmerz》(花の痛み)Op. 66, No. 1

- **作曲年:** 1825年
- **詩:** ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ
- **内容:** 花が季節の終わりに枯れていく様子を描いた詩に基づく作品です。花の痛みやその儚さが、繊細なメロディーとともに表現されています。自然の美しさと儚さがテーマで、感傷的な詩にウェーバーは叙情的な音楽を与えています。
- **音楽的特徴:** 穏やかで、繊細なメロディーが印象的です。ピアノ伴奏も控えめで、歌のメロディーを引き立てつつ、花の儚さや悲しみを優しく包み込むように響きます。

《Die Weihe der Nacht》(夜の祝福)Op. 46, No. 2

- **作曲年:** 1820年

- **詩:** フリードリヒ・シュレーゲル
- **内容:** 夜の静けさと神秘的な雰囲気を描いた詩に基づく作品で、夜の中に感じる安らぎと不安がテーマです。詩的なイメージが強く、ウェーバーはそれを音楽で神秘的に描き出しています。
- **音楽的特徴:** メロディーはゆったりとし、夜の静寂が感じられます。ピアノ伴奏もシンプルながら、夜の神秘的な雰囲気を漂わせ、静けさの中にある深い感情を表現しています。

《Der Freischütz》からの歌曲

- **作曲年:** 1821 年
- **内容:** ウェーバーの代表作であるオペラ《魔弾の射手》から派生した歌曲は、物語の主要な場面やキャラクターの感情を反映しています。特に、アガーテやマックスなどの主要人物が歌う場面の楽曲は、劇的な展開を音楽で表現しています。
- **音楽的特徴:** オペラの要素が反映されており、ドラマチックで大規模な伴奏とともに、歌手の声の表現力が試される曲が多いです。劇的な効果を狙った旋律が、物語の展開を音楽的にサポートしています。

ウェーバーの歌曲は、オペラで培ったドラマチックな表現力と、ロマン主義的な詩の繊細さが融合しています。彼の歌曲は、単なるメロディーラインの美しさだけでなく、詩の内容や感情を深く掘り下げて表現する技術が特徴です。また、ピアノ伴奏がしっかりとした役割を持ち、声と一体となって感情を高めています。

彼のロマン主義的な思想と感性が反映されており、特に自然、別れ、夜といったテーマにおいて、独特の情感と繊細さを感じることができます。